

| | |
|------------------|---|
| Title | 中国のインターネットコミュニティに見られる日本観：中国語学習の観点から |
| Sub Title | Views about Japan on the Chinese Internet community sites : from the perspective of Chinese language education |
| Author | 渋谷, 裕子(Shibuya, Yuko) |
| Publisher | 慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会 |
| Publication year | 2014 |
| Jtitle | 慶應義塾大学日吉紀要. 中国研究 (The Hiyoshi review of Chinese studies). No.7 (2014.) ,p.225(30)- 254(1) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 中国語教育論文 |
| Genre | Departmental Bulletin Paper |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA12310306-20140331-0254 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中国のインターネットコミュニティに見られる日本観 ——中国語学習の観点から——

渋谷 裕子

1 はじめに

2012年尖閣諸島問題をめぐって一気に悪化した日中関係は、一年後も膠着状態が続き修復の糸口を見いだせずにいる。

日中関係の悪化は両国の諸方面に影響を与えている。2013年に、「日本の言論NPO」と「中国日報社」が共同で日中の両国民に対して実施した第9回日中共同世論調査によると⁽¹⁾、調査に回答した日本人(1540名)と中国人(1002名)の相手国に対する印象はともに昨年よりも大幅に悪化し、日本人の中国に対する「良くない印象」は90.1%、中国人の日本に対する「良くない印象」は92.8%といずれも9割を超え、過去9回の調査で最悪の状況となった。米調査機関ピュー・リサーチ・センターがアジア各国で実施した世論調査においても、日本に「非常に悪い印象を持っている」と答えた人は中国で74%に上り、2008年の前回調査と比べ40ポイントも増え、「あまり良くない」印象があるとの回答と合わせると90%に達した⁽²⁾。内閣府が2013年11月23日に発表した「外交に関する世論調査」においても、中国に「親しみを感じない」「どちらかというと親しみを感じない」と答えた人は80.7ポイントに達し、昨年調査を0.1ポイント上回って過去最高となった⁽³⁾。

日本人の対中イメージの悪化は大学の語学教育にも影響を及ぼした。本年度多くの大学で中国語履修者が減少したり、中国語が第一希望でなかった学生が中国語クラスに回されるケースがみられた。問題は単なる履修者数の減少だけではない。さらに憂慮されるのは中国語を積極的に学ぶ意義を見いだせないまま漠然と授業を受けている学生が増えていることである。ここ数年、授業中に中国語で「你想去中国吗？（あなたは中国に行ってみたいですか）」と質問すると、大半の学生が「不想去（行きたくないです）」と答える。理由を聞くと、多くが「日本人と知られたらいじめられそうで怖い」「大気汚染がひどいから」と答える。

学生が中国人に対して「いじめられそう」と怖いイメージを抱くのは、おそらく2012年の反日デモの影響であろう。当時の日本のマスメディアが伝えたのは強い反日感情を抱いて日の丸を燃やして歓声を上げたり鉄パイプで日本車や日系企業を破壊する中国の若者の姿であった。実際はデモに参加したのは中国全体のごく一部の人々に過ぎない。暴徒の破壊的行為については中国内部からも批判の声が相次ぎ、理知的な愛国心をよびかける行動が中国版ツイッターと呼ばれているマイクロブログ（微博）⁽⁴⁾を中心に展開された。しかし日本のマスメディアは中国内部の多様な反応を地道に伝えることより最も「絵になる」刺激的なデモ風景を繰り返し流す方を選び、その結果多くの日本の若者がデモに参加した中国人を一般的な中国人像としてイメージすることになった。ネガティブな中国報道が多い傾向はその後も続き、一年が経過しても多くの学生が中国に対する負のイメージを払拭できない状態にある。このような学習者が果たして今後の日中交流の架け橋を担ってくれるのであろうか。いかにしてより多くの中国語学習者に中国に対する親しみや関心を抱かせるように引き出していくのかが、中国語教員に与えられた課題の一つであろう。そのためには、まず反日デモで過激な行為を行った市民は一部であり、実際には多様な価値観を持った中国人が存在することを学生に実感させる必要がある。

この問題を考える上で注目すべき動きがある。ここ数年、中国国内のマイクロブログや電子掲示板（BBS）等のインターネットコミュニティサイトに書きこまれた一般市民や知識人の声が中国の「ネット世論」として日本のマスメディアでさかんに紹介されるようになった。その特色は意見の多様性にある。その中に中国現体制を批判する活発な意見がみられることが、中国の民主化気運への高まりの表れとしてマスメディアや研究者に評価された⁽⁵⁾。さらにアニメ等の日本文化を評価する親日的な意見が多いことも注目される原因の一つとなった。最近日本のインターネットには、中国国内のネットユーザーの書き込みの中から日本人が興味を持ちそうな話題を日本語に訳して紹介するサイトが増えている⁽⁶⁾。これらの中国のネットユーザーの声は、「中国人の反応」として各種のインターネット記事に引用され、中には2ちゃんねるなどの電子掲示板で反中感情を抱く日本人ネットユーザーによって中国たたきの材料として引用されている例も散見する。日本でも紹介されるようになってきたこれらの中国のネットユーザーの書き込みを、中国にあまり親しみを抱くことができない現在の日本の学生に紹介することは適切であろうか。

本稿では2013年に見られた中国国内の電子掲示板とミニブログの内容を紹介しながらその基本的な特徴を考察し、これらのインターネット上の中国市民の声は学生に紹介する価値があるのか検討してみたい。

2 電子掲示板（BBS）にみられる中国人の 日本に対するイメージ

中国のメディア業界は、改革開放後広告を導入したことによって行政機関から企業に転換し、質量ともに急速な発展をとげた。その中で最も驚異的な発展を遂げたのはインターネットメディアである。中国インターネット情報センター（CNNIC）の2013年7月17日の報告によれば、中国における2013年6月末時点のインターネット利用者は、

年間で7790万人増、半年間で2700万人増の5億9100万人で、総人口に対するインターネット利用者率は44.1%に達した⁽⁷⁾。同調査によると2013年6月時点のブログの参加者は4億138万人（前年度比7.6%増）、マイクロブログ参加者は3億3077万人（前年度比7.2%増）、SNS利用者は2億8800万人（前年度比4.8%増）、電子掲示板（BBS）利用者は1億4098万人（前年度比5.5%減）である。中国のインターネットは各当局による検閲が実施されているので、閲覧できるサイトや発信できる内容に制限が加えられているが、実際に中国国内のサイトを見ると、中国のネットユーザーは予想以上に世界中の多様な情報を集め、自分の意見を積極的に発信していることがわかる。以下、2013年9月の中国のインターネットサイトで中国のユーザーがどのような意見を発信しているのか、具体例を紹介したい。

話題1 「日本と聞いて、まず何をイメージしますか？」⁽⁸⁾

「百度貼吧」は中国の代表的な検索エンジンである百度（バイドゥ/baidu.com）の運営する中国の代表的な電子掲示板（BBS）の一つである⁽⁹⁾。2013年9月現在、日本に関して①日本②日本アニメ③日本テレビドラマ④日本映画⑤日本芸能人等の多くの掲示板があり、どの掲示板もネットユーザーが立てた話題（スレッド）⁽¹⁰⁾に対して活発な書き込みがよせられている。以下、「日本貼吧（コミュニティ）」に立ち上げられた中国の日本人観に関する3件の話題を紹介する。

2013年9月14日に立てられた上記の話題1に対して当日211件の回答がよせられた。その結果をまとめたのが表1である。一人のユーザーが複数回答をよせる場合もあるので、回答数は延べ回答数である。

一番多かったのが「アニメ」で、35名にのぼった。その他にもドラえもん、ワンピース、ナルトなどアニメの名前や主人公が挙がった。3名が挙げた「ACG」は中華圏の若者の間で使われているスラングで、アニメ（A）コミック（C）ゲーム（G）の総称である。現在の

表1 日本と聞いてまず何をイメージしますか？

| ジャンル | 回答数 | 回答内容 (人数) * () の数字がないのは1名 |
|----------|-----|---|
| サブカルチャー | 59 | アニメ (35) アダルトビデオ (7) ACG (3) 漫画 (2) AKB (3) ドラえもん (2) |
| 伝統文化 | 43 | 桜 (14) 和服 (13) 温泉 (2) 忍者 (2) 武士道、たたみ、日本刀 |
| 特徴 (肯定的) | 31 | 清潔 (3) 礼儀正しい (2) 資質 (3) トレンド (2) 美しい (2) 可愛い |
| 企業名 | 17 | ソニー (5) 三菱 (2) ホンダ (2) トヨタ (2) シャープ、東芝、松下、日立 |
| 科学技術、工業 | 16 | 科学技術 (5) 環境 (3) 自動車、ロボット、新幹線、カメラ、建築 |
| 戦争 | 13 | 侵略戦争 (2)、南京大虐殺 (2)、靖国神社、731部隊、領土問題、 |
| 特徴 (否定的) | 11 | 変態 (3) 暗い、中国を蔑視、虚偽、復讐、表裏がある、愛国主義 |
| 地名、観光地 | 9 | 富士山 (3) 東京、東京タワー、関西、雪の北海道 |
| その他 | 8 | 留学、明治天皇、安倍晋三、日本企業、民間家屋、日本語 |
| 飲食 | 4 | 寿司、ラーメン、日本料理 |
| 合計 | 211 | |

中国の若者は小さい時から日本のアニメ、マンガ、ゲームに慣れ親しんで育っているので、日本というときまずこれらサブカルチャーに関連する言葉を連想するのであろう。

次に多かったのは桜や着物といった日本の伝統的なシンボルを挙げた回答である。「日本貼吧」には、「東京滞在記」「私の高校生活」といった日本に長期滞在したり、日本旅行をした中国人が日本の日常風景の写真を紹介するスレッドが多いが、満開の桜や女性の着物や浴衣姿、日本の農村や伝統家屋の風景が好んで紹介されている。日本の最先端の科学技術や環境の良さ、中国でも知名度が高い日本製品のメーカー名を挙げる回答も33件あった。

日本の特徴を抽象的なイメージで表現した回答が42件あり、そのう

ち31件がプラスイメージの回答であった。プラスのイメージとしては「清潔」「礼儀正しい」「素養が高い」「美しい」「可愛い」「思慮深い」「協調性がある」「行く価値がある所」「民主的」があった。百度の「日本贴吧」には日本に対する様々な思いが書き込まれているが、一般的に日本社会や日本人を好意的に捉える発言が少なからず見受けられる。

日本に関するマイナスイメージの回答は延べ11件あり、「変態」「暗い」「中国を蔑視」「虚偽的」「表裏がある」「復讐（すべき）」等がある。その他に日本と聞いて「侵略戦争」等戦争に関する言葉をあげた回答が13件あった。日本について「変態が多い」「変態文化が発達している」と述べる意見が多く、中国では日本人＝「変態」というイメージが比較的定着しているように見受けられる。南京事件を題材とした巖歌苓の小説『金陵十三釵』は張芸謀によって映画化され、2011年中国の年間総興行一位と大ヒットした。映画では日本兵が教会に避難している日本人13歳の少女を次々に襲うシーンがある。小説では日本人男性に関する次のような著述がある。

日本男性には病的な児童性愛癖があり、女子児童から少女にかけての女性に対して異常な関心をもっている⁽¹¹⁾。

日本に関する掲示板には日本の成人向けアダルトアニメ、アダルトゲーム、キャバクラなどの風俗業などに関する書き込みが多く見受けられ、日本の性産業に対する関心は高い。

一般的に領土問題等のマイナスイメージの回答が少ない理由として、次のような可能性が考えられる。

- 1 尖閣諸島などの政治的問題は管理者によって削除されている。
- 2 ネットユーザーが政治的な話題や過激な発言を繰り返すと投稿に規制をかけられることを予想して避ける傾向がある。

話題2 「日本人という、まず誰を思いつきますか？」⁽¹²⁾

2013年9月4日に立った話題2に対して、計85名（延べ145名）の日本人名が挙げられた。その結果をまとめたのが表2である。

最大の特徴は、特定の人物に集中しないで様々なジャンルから多様な人物が挙げられていることである。以前の中国人は思いつく日本人と聞かれると「栗原小巻」「山口百恵」「高倉健」「田中角栄」等と、テレビで放映された日本ドラマでみた俳優や有名な政治家など特定の人物に集中することが多かった。現在は多くの市民がインターネット等の多様な手段を用いて自分に合った日本に関する情報を得ていることがわかる。

第二の特徴は、日本で一般的にはあまり知名度が高くないアダルト女優や声優が挙げられていることである。この中で一番多い8票を得たのがアダルト女優の蒼井そらで、現在中国において最も人気がある日本人であると言って過言ではない。その人気は彼女がマイクロブログ「新浪微博」で発信しているつぶやきに、2013年11月の時点で1457万のフォロワーがいることからわかる⁽¹³⁾。彼女はマイクロブログを通じて中国語を使って中国人ファンと直接交流を図っている。2010年の青海省大地震の時には、ツイッターで募金活動呼びかけた。2013年の四川省雅安市の地震の時には、被災者に対して自ら毛筆で書いた「雅安加油」のエールを送り、多くの中国人の共感を呼んだ。尖閣諸島問題が起きた時も拙い中国語で日中関係を憂うつぶやきを行い、中国ファンに日中友好呼びかけた。中国語を勉強して中国人のファンと直接交流を行うひたむきさや、拙い中国語によるつぶやきの内容から伝わる飾らない素朴な人柄が高く評価され、中国人ファンからは「空先生」と称されている。

表2 日本人と言われてすぐに思い出す人の名前は？

| ジャンル | 人数 | 延べ | 名前 |
|---------|----|-----|--|
| 歌手、俳優 | 34 | 42 | 浜崎あゆみ（6）西内まりあ（2）矢野浩二（2）大島優子（2）渡辺まゆ、安室奈美恵、嵐、板野友美、宇多田ヒカル、AKB、小栗洵、尾崎豊、柏木由紀、亀梨和也、倉木麻衣、小池里奈、剛力彩芽、近藤春菜、酒井法子、櫻田通、佐々木蔵ノ介、高倉健、橘慶太、谷村新司、千葉涼平、新垣結衣、西野カナ、二宮和也、ファンモン、前田敦子、山田優、yui |
| 歴史上の人物 | 13 | 30 | 織田信長（8）豊臣秀吉（6）徳川家康（3）明治天皇（2）伊藤博文（2）足利尊氏、上杉謙信、後醍醐天皇、平清盛、伊達政宗、卑弥呼、藤野厳九郎、源義経 |
| 架空の人物 | 8 | 8 | 佐々木小次郎、ちびまる子、ドラえもん、野原新之助、初音ミク、桃太郎、六花、亀田太君 |
| 政治家 | 6 | 8 | 安倍晋三（2）小泉純一郎（2）野田佳彦、橋下徹、明仁天皇 |
| 漫画家 | 6 | 10 | 宮崎駿（4）岸本齊史（2）、青山剛昌、尾田栄一郎、手塚治虫、藤本宏 |
| 日中戦争の軍人 | 5 | 13 | 東条英機（6）山本五十六（3）土肥原賢二（2）岡村寧次、松井石根 |
| アダルト女優 | 5 | 14 | 蒼井そら（8）波多野結衣（3）大槻ひびき、吉沢明歩、武藤蘭 |
| 作家・作曲家 | 5 | 6 | 村上春樹（2）久石譲、川端康成、太宰治、星新一 |
| 声優 | 4 | 7 | 花沢香奈（3）宮野真守（2）南条愛乃、速水奨 |
| アスリート | 2 | 2 | 香川真司、小山智利 |
| 知人 | 2 | 5 | 自分の先生、友達、 |
| 合計 | 85 | 145 | |

話題3 東京オリンピック開催が決まったが、開会式では誰の姿を一番見たい？⁽¹⁴⁾

東京オリンピックの開催が決定した9月8日に立てられた話題3に対して71件（延べ145件）の回答がよせられた。表3がその結果である。

開会式全体の演出を答えたユーザーも多く、式の総監督を宮崎駿、

表3 東京オリンピックの開会式で誰を一番見たい？

| ジャンル | 人数 | 回答数 | 名前 |
|-----------|----|-----|---|
| 歌手、俳優 | 45 | 76 | 蒼井そら (6) AKB (5) J家 (5) 宇多田ヒカル (5) 浜崎あゆみ (4) 嵐 (4) 倉木麻衣 (4) 西野かな (4) 安室奈美恵 (3) 板野友美 (3) 亀梨和也 (3) 山下智久 (2) 中島みゆき (2) 坂本冬美 (2) 鳥崎遙香 (2) 新垣結衣 (2) 松たか子 (2) smap (以下1人) 谷村新司、長谷川京子、堂本光一、長澤まさみ、篠田麻里子、渡辺謙、山田孝之、山口百恵、堀北真希、平成ジャンプ、yuki、green、他15名 |
| 声優、ボーカロイド | 12 | 34 | 初音ミク (18) V家 (4) 声優 (2) 田中真弓、水樹奈々、神谷浩史、釘宮理恵、井上和彦、桜井孝宏、中井和哉、小野大輔、杉田智和 |
| 天皇、政治家 | 6 | 8 | 天皇 (3) 悠仁親王、皇太子一家、安倍晋三、鳩山由紀夫、小泉純一郎 |
| キャラクター | 5 | 14 | ドラえもん (7) ウルトラマン (3) コナン (2) コスプレ (2) |
| 漫画家 | 2 | 8 | 宮崎駿 (7) 新海誠 (1) |
| 作曲家 | 1 | 5 | 久石譲 (5) |
| 合計 | 71 | 145 | |

音楽の総監督を久石譲に依頼し、イメージキャラクターをドラえもんにしてほしいという意見が一番多かった。出場者としては、中国人ファンが多い蒼井そらや日本でも人気のあるジャニーズ系タレント (J家)、AKB等を希望する声が多かったが、最も多くのユーザーが出場を希望したのはボーカロイド⁽¹⁵⁾の初音ミクであった。

中国の一部の若者の間ではボーカロイドを指す「V家」というスラングがある位、ボーカロイドやアニメ声優に対する人気が高い。このスレッドでも多数のアニメ声優の名前が挙がっている。このことから中国の多くのアニメファンはアニメを日本語の音声を字幕付きで見て、生の日本語に親しみを抱いていることがわかる。

以上「日本貼吧」の中国人の日本人観に関する3つの話題を紹介した。これらの話題のかきこみには次のような特徴が指摘できる。

(1) 回答の多様性。

同一回答に集中しないで、多様な回答がよせられている。日本に抱くイメージについて、サブカルチャー、伝統、科学技術、戦争とさまざまなジャンルに関する回答があり、どのジャンルにおいても1～2人の少数回答が多い。現在の中国一般市民の趣味や志向が多様化していることを示していよう。

(2) 踏み込んだ日本理解。

一般市民がインターネットを手軽に使えるようになった結果、工夫次第で興味がある日本のアニメやゲーム、アダルトビデオに関する詳細な情報を入手できるようになった。日本のサブカルチャーはナショナリズムから距離を置いたバーチャルな空間を描くことが多い。そのため、国家としての「日本」を好きになれない中国人でも文化は抵抗なく受け入れることができる。興味深いのは、多くの日本のサブカルチャーの愛好者が、しだいに関心をそれを生み出した日本人や日本社会、日本語に広げていく傾向があることである。アダルトビデオで蒼井そらを知った中国人ファンは彼女がミニブログで発信したつぶやきを通じて彼女の人柄や日常生活を知り、バーチャルなアダルトビデオの空間から踏み出た日本社会に生きる蒼井そらの人柄に好感を抱くようになった。百度贴吧の日本アニメの掲示板には人気漫画に関する様々なスレッドが立つが、中にはアニメのコナンのセリフで日本語学習をしたり、アニメで知った日本の生活文化に関して話し合ったりと、サブカルチャーに対する興味が日本語学習や日本文化全体へ広がるケースも見受けられた。

3 マイクロブログに見られる中国人の 抗日ドラマに対する見方

中国には日中戦争で日本軍を打ち破る中国兵士の活躍を描く「抗日ドラマ」というジャンルがある。抗日ドラマは中国国内向けのプロパ

ガンダの役割を果たしており、残虐で非道な日本人を描く抗日ドラマが中国人の反日感情をあおらせ反日デモに発展したという見解がある。ここではマイクロブログで中国人は最近の抗日ドラマに対してどのような発言をしているか紹介してみたい。

まず抗日ドラマの現状を紹介したい。ここ数年抗日ドラマの放送が急増している。統計によると、1949～2004年に撮影された抗日ドラマは150作品余りで、1年に3作品ほどの割合だったが、2005年に20作品が、2012年には70作品余りが公開され、2013年も1月から3月までに30作品が制作された⁽¹⁶⁾。2012年浙江衛視放送局がゴールデンタイムに放送したドラマで抗日ドラマが占める割合は50%、江蘇衛視放送局では41%、山東衛視放送局では48%と非常に高い割合を占めている⁽¹⁷⁾。抗日ドラマが急増した背景としては、2004年以降、放送監視機関である国家広播電影電視総局がゴールデンタイムに放送する番組のジャンルを厳しく制限したために⁽¹⁸⁾審査が最も通りやすい抗日ドラマに集中したことや、抗日ドラマはセットが既にそろっているので低予算で高収益をあげられることが指摘されている。

量産され続けた抗日ドラマに今年になって変化の兆しが出はじめた。政府が抗日ドラマの規制に乗り出したのである。史実を無視した荒唐無稽な内容の作品が目立つようになり、その多くが共産党の正統性を宣伝するという本来の目的とかけ離れた視聴率稼ぎの娯楽番組と化してしまった。そのあまりにも俗悪な内容に市民から批判が相次いだ。

例えば2010年度の視聴率1位である『抗日奇侠』は、6人の義士が日本軍と戦うストーリーであるが、登場人物がカンフーの特技を使って日本兵を数十メートルも投げ飛ばしたり素手で日本兵を引き裂くシーンが問題となった。『箭在弦上』(2012年)は、日本兵に囲まれて襲われた中国人女性が急に飛び上がり、30人以上を瞬時に弓矢で射るシーンがある。コメディ作品で有名な俳優・ディッキー・チョン(張衛健)主演の抗日ドラマ『五台山抗日伝奇之女尼排』(2013年)に至っては、30人もの若い尼僧が戦場で日本兵を殺戮するという奇抜な設定

と濡れ場シーンを含む過剰な演出が話題となった。5月17日付『人民日報』の記事によると、国家広播電影電視総局の王衛平局長は、「抗日戦争は中華民族が侵略に抵抗した壮挙であり、そこから芸術作品を創作するのは我々の使命である」と抗日ドラマの意義を強調したうえで「事実を歪曲した過度に娯楽化した抗日ドラマを規制する」方針を発表した⁽¹⁹⁾。その指示を受けて放送中の数本の抗日ドラマが放送を中止した。

現在の中国人は抗日ドラマに対して実際にどのような感情を抱いているのであろうか。2013年8、9月にマイクロブログ「新浪微博」で「抗日劇」と検索した結果集められた、抗日ドラマに関するネットユーザーの意見を紹介してみたい。

- ①今のテレビドラマの監督のレベルは話にならないくらいに落ちている。ドラマ『狼牙英雄』のストーリーみたいに、中国人があんなに強くて日本人が頭が悪いことがあり得るのか。もっと事実を認めなくては。視聴者をばかにしないでほしい。(8月11日)
- ②抗日ドラマ『終極任務』が終わった。でたためで下らなかった。描きかかったのはカンフーのシーンか？ それとも日本人の残虐性か？ こういう劇を放送するのは百害あって一利なし、もう二度と作らないでほしい。(9月14日)
- ③日本が中国を侵略したことは許せないが、今の下らないB級抗日ドラマはもうやめてほしい。どのチャンネルをまわしても抗日ドラマをやっている。日本人は憎いが、日本軍が強かったのは確かだ。アメリカが原爆を落とさなかったら日中戦争もどれだけ長引いていたことか。こういうドラマを作る人は日本へのコンプレックスがあるのか、それとも民衆に日本を憎めと挑発しているのか。(8月15日)
- ④いつも気になっているけれど、中国にいる日本人はテレビを買って、抗日ドラマを見ているのかしら？(8月17日)

- ⑤テレビで日本人が中国人にする残忍な処刑シーンを見たくない。
ああいう処刑シーンは一度ドキュメンタリーを見ただけで二度と忘れることができない。残酷シーンだけを強調しても命の尊さを伝えることはできない。麻痺してしまうだけだ。(8月17日)
- ⑥日本人が中国の抗日ドラマをみたらどう思うか知りたい。(8月17日)
- ⑦最近昔の語学のテキストに載っていた魯迅の短編「藤野先生」をふと読み返してすぐに思い浮かべたのは、テレビや映画で日本人が殺されるシーンを見たがる今の中国人たちである。抗日愛国が目的で決して楽しむためでないで自分の本心を欺いている姿が、魯迅が文中で回顧する盲目的に愛国主義を叫ぶ愛国青年⁽²⁰⁾たちと重なった。(9月2日)
- ⑧我々の教育はかなり「殺人文化」を好む傾向がある。昔見た映画やテレビには人を殺す幼い英雄がよく登場した。ある時は日本人を殺したり、または国民党、地主、資本家をとやたらと人を殺した。その影響か、1950～60年に育った人たちにはこの精神が骨の髄までしみこんでいる。荒唐無稽なこと、非人道的なこと、反社会的なものに対しても「正義」という肩書をつけて堂々と正当化する。(8月18日)
- ⑨今のテレビドラマは見るに堪えない。特に抗日ドラマは。もしも我々の兵士がドラマの登場人物みたいに強かったのなら、なぜ8年も闘わなくてはいけなかったのだろう。あの強さで8年闘ったら東京まで占領できただろう。これらのテレビドラマが日本人に見られないことを願う。もしも日本人が見たらきっと我々に「お前たち自身が歴史を尊重していないのに、どうして我々に歴史を尊重しろといえるのか」と言われると思う。(9月2日)
- ⑩日本人は中国を8年侵略した。しかし我々の文化担当者は抗日ドラマで我々を数十年も侮辱し続けている。あのストーリーやでたらめなセリフは中国人を侮辱しているのではないか。日本人が中

国女性を襲うシーンを通じて、反日感情を高めようとしているのだろう。もっとも日本人はこのドラマを見ないのだから、結局いつも我々が自分たちの女性が襲われるシーンを見させられるのだ。
(8月25日)

これらの発言を見る限り、5月に実施した抗日ドラマの規制はさほど徹底していないように見受けられる。書き込みのほとんどが現在の行き過ぎた抗日ドラマの演出を批判している。10人のネットユーザーの意見は以下の3点にまとめられよう。

一つは、低俗な抗日ドラマの制作者側を批判する意見である(①②③⑩)。視聴者を自分たちより低いレベルと想定し、低いレベルの視聴者が喜びそうな低俗、露悪趣味の番組を制作する姿勢を「視聴者をバカにしている」と批判している。③は、日本軍を極端に弱く描くのは、製作者が日本にコンプレックスがあるのではないかと指摘している。この「日本を弱く描くのは対日コンプレックスの表れ」という考えに代表されるように、中国人の行動を内省的に考えようと意識している発言が多く見受けられる。

二つ目は、低俗な抗日ドラマが量産され続ける責任は視聴者側にもあるとする、自国人の精神構造を内省的に批判した意見である。抗日愛国のためと称して強姦や残虐なシーンを好んで見る視聴者側が多いので高視聴率になってしまうことに問題があるという。⑦の発言は愛国のためと称して抗日ドラマをみる現在の中国人は、魯迅が批判した盲目的に愛国をふりかざす日本の愛国青年と同じ精神構造であると批判している。⑧は、殺人を正義のための正統行為と子供に教育してきた文革期の中国教育の影響を指摘している。いずれにしても、視聴者が抗日ドラマを見る目的は愛国のためでないと考えている。

三つ目は、このドラマを日本人が見たらどう思うだろうかと日本側の反応を気にする意見である(④⑥⑩)他にも、「抗日ドラマの日本人がこんなに悪人だとしたら、日本のドラマでも中国人は悪役なのか

しら」という意見もあった。

以上をまとめるとマイクロブログのネットユーザーの多くは現在の抗日ドラマは低俗でくだらないと感じ、このようなドラマが量産される責任は製作者側にも視聴者側にもあると発言している。

ところで、これらの発言は時期的に政府が行き過ぎた抗日ドラマを批判した三ヶ月後である。そのため、ネットユーザーが政府の見解に沿って発言したことや、当局によるネット検閲によって、政府の見解に反する意見が削除された可能性も考えられる。政府による批判以前の発言と比較することは出来なかったが、この時期の5ヶ月後（2014年1月）のマイクロブログにおいてもネットユーザーの抗日ドラマに対する意見の大半は上述の意見と同様その低俗な内容を嘆くものであった。ただし、マイクロブログの多くのネットユーザーは抗日ドラマの質の低下を非難しており、抗日ドラマの存在そのものを否定しているのではない。日中双方の兵士の人間性を深く描いた日本人に見せても恥ずかしくないような抗日ドラマが制作されることを期待する意見も見られた。

以上、政府の方針やネット検閲の関係で意見の内容に制約が加えられている可能性が否定できないが、これらの書き込みを見る限り、マイクロブログに自分の意見を発信するような市民にとっては、現在の抗日ドラマは反日感情をあおるようなプロパガンダの機能を十分に果たしていないことが予想される。

4 中国において日本語学習者の置かれている状況

2013年7月に国際交流基金の発表した速報値によると⁽²¹⁾、2012年中国における日本語学習者は2009年の前回調査と比較して26.5%増の105万人となり、中国は世界一日本語学習者が多い国となった。

前述のごとく日本に対して良くない印象を抱く中国人が激増したのにもかかわらず、日本語の学習者は減少するどころか増加したのであ

る。ここでは中国の日本語学習者が日本に対してどのような思いを抱いているのか考察してみたい。

話題1 「日本が好きか日本語を勉強している皆さん、今まで言われた一番ひどい言葉はなんですか？」⁽²²⁾

日本に対して好印象を抱いていない人が9割以上を占める中国国内において日本語学習者は周囲からどのように思われているのだろうか。2013年9月13日、「百度貼吧」の「日本貼吧」に、上記の**話題1**が提供され、それに対して90件の回答がよせられた。その回答をまとめたのが表4である。

全体を通じて多かったのは「日本語を勉強していることを批判されたり、日本に関する蔑称を言われた」という意見で、全体の58%をしめた。一番多く言われた蔑称は「漢奸（裏切り者、売国奴）」で、例えば「『そんなに日本が好きなのなら、日本に行って売国奴になれば』と言われた」という発言があった。それに対して「漢奸が一番言われて傷つく言葉だと思う。どの中国人にも中国人の心があることを信じてほしい」というコメントが寄せられた。その他、「日本狗」「小日本」「売国奴」「太君（日本兵に対する蔑称）」「日本人と犬は教室に入るな」と言われたという発言もあった。中国における日本語学習者は、周囲から蔑称のみならず、様々な批判を浴びせられている。一番多かったのは、「今まで日本がどれだけ中国人を傷つけたのか忘れたのか」「日中戦争を忘れたのか」等日本が戦争の加害者であることを理由にして日本語を勉強していることを批判されたという発言である（5名）。そのほかに「日本にいったらひどい目にあうぞ」「日本に行ってアダルト映画の男優にでもなるつもりか」「発情したのか」「裏切り者、日本に行け、中国にいるな」と日本に対する偏見に満ちた意見を浴びせられたり、「両親からバカにされる」「両親が日本の悪口を言う」「クラスみんなに軽蔑された」「インターネットで愛国青年（憤

青)にからまれた」「日本語の本を持っていたら近所の年配者に説教された」という意見があった。日本語を勉強することに関して誰からも批判されたことがないという意見も22名いた。「両親や友達が日本語を勉強することを積極的に応援している」という回答者も7名いて、全ての日本語学習者が周辺から白い目で見られている訳ではないことがわかる。

「周囲に批判されるのを恐れて、日本語を勉強していることを人に隠している」という回答が4件あった。その一方で、「批判されても一切無視している」という回答もあり、日本や日本語学習者を批判する人たちを軽蔑する意見が多くみられた。例えば「私は日本の文化が好きだけなのに、日本人が中国を侵略したことを忘れたかと言われた」という書き込みに対して、

- ①こういう人たちを相手にする必要がないと思う。日本の良いところを学ぼうとしないで、いつも南京大虐殺、日中戦争のことばかりいう。もちろん国辱を忘れてはいけない。しかし正直な所今の中国人の民度は日本人と比べようがない。彼らは日本の良い所を学ばないで、ひたすら戦争の加害者と言う弱みを握って放そうとしない。国内の矛盾を転嫁するスケープゴートとして必死に日本を叩いているのだ。

表4 日本語を勉強していて今までにいわれた一番ひどい言葉は？

| 1 | 蔑称を投げつけられた | 25 |
|----|---------------|----|
| 内訳 | 漢奸 | 9 |
| | 日本狗 | 4 |
| | 小日本 | 3 |
| | 売国賊 | 3 |
| | 太君 | 2 |
| | 狗雑種 | 1 |
| | 小奸狗 | 1 |
| | 日本鬼 | 1 |
| | 裏切り者 | 1 |
| | スパイ | 1 |
| 2 | 何も言われていない | 22 |
| 3 | 家族や友達が応援してくれる | 8 |
| 4 | 批判、悪口を言われた | 26 |
| 5 | 一切無視している | 4 |
| 6 | その他 | 5 |
| 合計 | | 90 |

というコメントがよせられた。その他にも、

- ②日本語学習者を罵るなんて、その人たちは義和団なのか？
- ③僕の周囲には僕が日本のアニメを見たり日本の歌を聴くのを批判する人はいないが、もしも日本語を勉強することを批判されたら無視するべきだ。価値観が違う人を相手にしても意味がない。
- ④相手にする必要がない。今の中国は愛国主義者のろくでなしの集まりなのだから。

と日本語学習者を批判する人に反発する意見が多くみられた。このように反日感情を抱く人が多い中国国内では、多くの日本語学習者が日本語や日本文化に対する関心を公に言いづらい状況下に置かれていることがわかる。

注目されるのは、日本語を勉強していると言いづらい中国の現状に反発を抱き、その反動で日本に対して更に好感を抱く日本語学習者が多く見受けられることである。逆境をはねのけたいという思いが、日本語に対する自主的な学習意欲を引き出す原動力となっている。

話題2 「自分の周囲の人々の日本に対する態度について話してみよう」⁽²³⁾

中国における日本語学習者の日本に対する意見が述べられている話題をもう一つ紹介してみたい。2013年9月15日、「百度贴吧」の「日本贴吧」に上記の話題2を提供した高校三年生のネットユーザーは、この話題を提供した理由を以下のように述べている。

- ①僕の個人的体験を述べよう。僕は幼い時からわが国の愛国教育の洗礼を受けていたので幼いころは日本を憎んでいたが、その

後日本の製品に触れてから、次第にこの国に対する好奇心が芽生えてきた。宮崎駿の幻想的な色彩は、幼児期に思い描いた純朴なメルヘンの世界を思い出させた。日本製品はいつも緻密で高品質であることで名高い。日本の文化は常に僕の心を揺さぶり、僕は満開の桜の下で様々な表情をみせるこの民族をもっと理解したいと思うようになった。将来僕が自分の価値基準で物事を判断できるようになった時に、はじめてこの繊細で美しい国に正しく向き合うことができよう。

この問題提起を受けて、多くのネットユーザーが自分の周囲の日本に対する見方を報告した。

周囲に反日派が多いと感じる意見を紹介する。

- ②僕の周りは10人中6人が日本に反感を抱き、2人がどうでもよいと思い、1人が日本アニメだけが好きで、残り1人が日本文化が好きという感じかな。
- ③全体の80%が日本嫌いだろう。実際僕もそんなに好きでない。
- ④私の周りにはみな反日だ、これもみなバカげた抗日ドラマのせいだ。
- ⑤僕の周辺の日本に対する見方は普通かな。極端な反日（憤青）でもないし、特に好きでもない。でも皆日本は良い所ではないという。そういう人たちは人間中心の文化が理解できないか、自分の観点をもっていない人たちだと思う。
- ⑥家族（母）や同級生は日本に反感を抱く人々に属している。歴史の授業になるとほとんどの同級生が日本を叩くので僕は彼らとあまり良い関係を結ぶことができない。両親は、僕が以前日本に行きたいと言ったら父は賛成したが、母はずっと日本の悪口を言っている。僕の経験に基づく結論は、もしも大人が子供に対して日本の悪いことばかり言わずに良いことも教えていた

ら、今より多くの人が日本を好きになっていったと思う。

反対に周囲には日本に好意的な人が多いと報告するネットユーザーも多くみられた。

- ⑦みんな一体どんな環境で生活しているの？ 僕は中国に20年住んでいるけれど小さい時から反日教育を受けていないし、周りの人も日本に対して特別な悪意を抱いていないよ。反日感情を抱いている人もいなくはないけれど、10人中1、2人だ。
- ⑧僕たちのクラス36人では1人だけ反日派で、他はみんな親日派だよ（上海）
- ⑨ある有害な与党が中日関係を不必要にこじらせているが……僕たちの近くには極端な反日派（憤青）はいないし、日本についてはほとんどがそのライフスタイルや学園生活、労働環境にあこがれている。

自分も話題提供者と同じ経緯で反日派から親日派になったというコメントが多くみられた。

- ⑩ぼくも元々は日本がきらいで、日本アニメも嫌いであったが、日本語を勉強してから日本の文化を理解することができた。確かに洗練された礼儀正しい国家だと思う。ただし礼儀正しい所と変態である所の両面性があると思う。周囲の人は全く愚かだと思う。現実を客観的に捉えようとしな。抗日ドラマの見すぎだよ。
- ⑪日本を嫌う人は多い。僕の父もそうで、小さい時から日本人は本当にひどいことをするといつも言っていた。僕も前は日本が嫌いだったが、だんだん実際は前に思っていたのと違うことがわかってきた。やがて日本のアニメを通じて次第に日本のこと

を理解するようになってきた。現在は日本の文化も（日本人の民度も含めて）好きだ。僕が嫌いなのは日本の政府であって、それは国民と別の話だと思う。

これらのコメントの一番の特徴は、自分たちの周辺の反日派について、「小さい時から抗日ドラマによって愛国教育に洗脳された結果、現実を客観的に認識しないで自分の頭でものごとを判断しない愚かな人間となってしまった」と強く批判していることである。そして自分たちは、愛国教育の洗脳から解放されて「自分の価値基準で物事を判断するようになった」結果、日本に多くの優れた点を見出すことができたことを強調している。コメントをよせたネットユーザーの大半は、高校生か大学生だと思われる。自我が芽生え、大人の論理や価値観を押し付けられることに反発を感じる時期に、彼らが最も疑問を抱いたのは愛国心を強要する反日教育であり、その反動として独創的で繊細な若者文化をもつ日本に傾倒するようになった。彼らは反日を唱える人の多くは聞きかじりの話に頼っているだけで、自分たちの価値基準をもっていない、これからの中国人はもっと理知的に物事を考え行動するべきだと主張している。

⑫今は懸命に反日を唱える時期ではないはずだ。XX 島（尖閣諸島）の事件の時も抗議デモに実際に参加した人は中国全体からみていったいどのくらいいたというのだろうか。しかも実際にデモに行った人も遊び半分の気持ちで参加したのであろう。今は昔と違って、我々市民の知的水準も上がっているはずだ。世間には我々にはどうすることもできない連中がいる、中国には「憤青」がいるけれど日本にも「右翼」がいるではないか。奴らのことを相手にするのはやめよう。世界の中国に対する印象については、僕らの世代の人たちがこれから地道に印象を良くする努力をしなくてはいけない。まだ歩みだしてから十数年間

に過ぎないのだから。少なくとも今はかつてのような閉ざされた鎖国ではないのだから。

日本のアニメや日本文化に親しみを抱いて日本語学習を始めた青年たちが、周囲の反日派との軋轢を通じて、物事を理知的に考え周囲に流されずに問題意識をもって行動することの重要性を自覚したことがわかる。

話題3 『日本とアメリカ、あなたはどちらにすみたい?』が日本人に訳された。⁽²⁴⁾

最後に、日本語学習とは直接関係ないが現在の日中インターネット掲示板の特徴が良く表れている話題を紹介したい。2013年9月22日、「百度貼吧」の「日本貼吧」に立てられた上記の**話題3**は、もともと「百度貼吧」の「中国人吧」に立てられた話題である。その時「日本とアメリカのどちらに住みたいか?」という提案者の問いに対して、下記のごとく多くの中国人ネットユーザーが日本に行きたいと答えた。

- ①もちろん日本だ。アメリカ人はいつも黄色人種を軽視するから。
- ②アメリカは収入は高いけれど日本は環境が素晴らしい。二択なら日本だ。
- ③私は日本かな。銃社会のアメリカは怖いから。
- ④当然日本だよ。俺は英語と欧米女性が苦手だ。日本語と日本女性は大好きだ。

上記の話題の提案者によると、この「中国人吧」の内容が日本語に翻訳されて日本の掲示板（2チャンネル）に転載され、日本のネットユーザーが「日本に来たい」と書いた中国人の書き込みを揶揄して日本に来ることを拒むコメントが2チャンネルに書き込まれた。それが

さらに中国語に訳されて「百度贴吧」に掲載されたのである。以下は2ちゃんねるに掲載されたとされる、日本に行きたいと発言した中国人ユーザーに対する日本人ユーザーのコメントの一部である。

- ①アメリカへ行け。日本に来るな。
- ②反日の意志を貫けよ。
- ③放射能で大変だからアメリカへ行けよ。
- ④これ以上犯罪率増加させるのはよしてくれ。
- ⑤お断りします。拒絶。土地狭いからやめてくれ。
- ⑥あいつら他国に行ってもドでかいコミュニティ作ってさも自国にいる様に暮らすのがいやなんだ。

話題3には、これら日本人の書き込みに対する中国ネットユーザーの様々な感想がよせられた。

- ①日本人は中国人を嫌っているのか。反日の後遺症かな。これは我々が自らまいた種でしょう。
- ②こういう日本のネットユーザーの書き込みを見ると本当に辛くなる。アメリカより日本に行きたいと書き込みをしたのは皆日本が好きで中国人なのに。それに対する日本人のコメントは日本が好きで中国人をいやな気持ちにさせ、日本が嫌いな中国人を良い気持ちにさせたと思う。こういうマイナスのコメントは日中双方にとって良いことがない。
- ③外国で恥さらしなことをする中国人がいるから外国人の中国に対する印象が悪くなるのだと思う。
- ④中国人は日本人にあまりよく思われていないらしい。でも必ずしもそれが全ての中国人を代表している訳ではない。素晴らしい中国人に出会った日本人もきっといるはずだ。もし現状を変えたいのなら僕たちが実際に日本に行って彼らの中国人に対す

るイメージを変えさせるしかない。

- ⑤中国人は毎日反日を叫んでいると日本人は思っているのか。中日友好は日中国民の態度に頼っていたら日本の中国に対する見方はずっと変わらないであろう。
- ⑥日本の「2ちゃんねる」と中国の「鉄血」（中国の過激な意見が多い掲示板）は同じようなもので、その意見が一般的な意見を代表している訳ではない。
- ⑦これらの問題は私と関係ない。私はただ日本が好きで、中国が好きで日本人と友達になりたいだけです。私は大多数の日本人が中国人を嫌っていないことを信じている。

現在日中の掲示板には、お互いの国の掲示板の話題を翻訳して紹介してはその内容を揶揄する書き込みが見られる。ただし、今回の場合、中国の掲示板の書き込みが2ちゃんねるに転載され、それをまた中国人が転載して話題にしているのだが、この記事が本当に2ちゃんねるの掲示板に掲載されたものなのか明らかにできなかった。日本の反日派に好感を抱いていない中国人が2ちゃんねるの書き込みの部分を創作して書き込んだ可能性も考えられる。少なくともこの話題を提供したネットユーザーが日本に対して好意を抱いていないことは確かであろう。

中国のネットユーザーは日本のネットユーザーの中国人を侮辱するコメントに対して、これらの排他的意見がすべての日本人の気持ちを代表しているわけではないと冷静に受けとめている。同時に日本人の中国人に対する印象を良くするために、「全ての中国人が反日意識を持っているのではないことを日本人に伝えたい」と前向きな意見を述べている。

以上の3つの話題の書き込みからわかるように、中国の日本語学習者や日本に関心を抱いている若者が置かれている環境は決して良好ではない。多くの学習者が、反日感情を抱く周囲との軋轢にどのように

向き合うかという問題に立ち向かわなくてはならない。しかし、多くの日本語学習者が他者との軋轢を通じて、周囲に流されずに理知的に判断することを学び、反日に象徴される閉ざされた民族主義から抜け出した独自の価値観を持つに至った。彼らにとっての日本語学習は、語学力を習得するのみならず自己アイデンティティを構築する恰好の場ともなったのである。

5 むすびにかえて

以上、中国の電子掲示板（BBS）やマイクロブログに見られた日本に関する書き込みのいくつかを紹介した。

今回紹介した書き込みの基本的特徴をまとめてみたい。書き込みをしたネットユーザーの多くが日本に関する多様な情報を得ており、日本に対して単純に「好き」「嫌い」と一言では言い表せない多面的なイメージを抱いている。さらに、多くのネットユーザーの発言に、周囲の意見や政府のプロパガンダに踊らされずに、あくまで現実の日本社会を多角的に捉えて客観的に理解しようとする姿勢を読み取ることができる。彼らの多くはゴールデンタイムに抗日ドラマが連日放映されたり、日本語学習者を「漢奸」と言う人がいる現在の中国の状況に違和感を抱き、現実の生活空間では言いにくい日本に対する多様な意見を交換する場として電子掲示板やミニブログを利用し、自分の思いを発信した。インターネットの日本関連コミュニティサイトに親日派のネットユーザーの書き込みが比較的多く見受けられるのはこのような背景が推定できる。

最後に、今回紹介したような中国のインターネットコミュニティサイトが中国語を学習する日本人学生に紹介する価値があるのか検討してみたい。

各種コミュニティサイトの書き込みの一番の問題点は、やはりその不確実性であろう。匿名のネットユーザーが果たしてどの程度現実や

本音を語っているのかわかるすべがない。書き込みの内容は各コミュニティサイトの性格や当時の政治情勢によって大きく左右され、さらにネット検閲によって政府に不都合な発言がすぐに削除されているという可能性がある。いくら膨大な量の匿名コミュニティサイト上の発言を集めて分析しても、そこから中国人の全般的意見を導き出すことはできない。このような性格を備えた中国のインターネットコミュニティサイトの書き込みは、中国に対して十分な理解ができていない学生に不正確な情報や偏ったイメージを与えかねない。

さらに、これらのコミュニティサイトに書きこまれた中国語は日本と同様にネット社会特有の若者言葉がさかんに使われており、文法的に誤った表現がしばしば見られるという問題点もある。学生がこれらの流行語を面白がって用いて公式の場で使う中国語の勉強をおろそかにしては困るという意見もあろう。

これらの問題点が存在するが、中国のコミュニティサイトを日本の学生に紹介することには、次の点において意義があると思われる。

第一に、ネガティブな中国報道に触れることが多く中国に対する負のイメージを払拭できない状態にある学生に、「中国には様々な価値観を持った中国人がいて、日本を憎んでいる中国人ばかりではない」ことを学生に実感させるのに、今回紹介したような日本関連コミュニティサイトは格好の材料となろう。これらのサイトでは、日本の対中政策を批判する発言が多くみられる一方で、日本は現在の中国に比べて民度が高く環境や治安が良いので住みやすいことを指摘する発言も多い。学生たちはこれらの発言を通じて、同じ中国人でも社会に対する不満の矛先を日本政府に向ける市民と中国政府に向ける市民がいることを実感できるのではないか。

中国の各コミュニティサイトは、日本の匿名掲示板と同様に無意味な発言の繰り返しや中傷や煽りなどの稚拙な書き込みであふれている。その一方で、今回紹介したようなネットユーザーの真面目な思いが述べられている発言もあり、その中には日本の学生が多様な中国人像を

イメージする手掛かりとなる内容のものも含まれている。今回紹介したような、「中国人は毎日反日を叫んでいると日本人は思っているのか」「日本人の中国人に対するイメージを変えるために、実際に日本に行って良い中国人もいることをわかってもらいたい」といったネットユーザーの声は日中関係の改善を希望している中国人がいることをイメージできる手掛かりとなろう。また、今回紹介した日本に対する思いを語ったネットユーザー達のような、周囲との軋轢に苦しみながらも自分の価値観に合った文化を求めて日本文化や日本語に向き合う中国の若者がいることを実感することは、単位取得のために漠然と中国語を学んでいる日本の中国語学習者に良い刺激を与えるのではないか。

第二に中国のインターネットコミュニティを紹介するのは、学生に実際の中国の Web サイトに触れされるという点においても意義がある。今後は、中国人と直接会話すること以外に各コミュニティサイトやメールを通じて中国語で意見交換する機会が増えるものと思われる。中国国内のマイクロブログ等を活用して中国人に直接中国語で意見を発信している日本人も増えている。従来中国語の授業は簡体字やピンインを正確に書くことに重点がおかれていたが、今後中国語の授業において、中国の Web サイトを閲覧する方法やパソコンで中国語を入力する方法などをカリキュラムに取り入れることは、学生の実践的な中国語運用能力を育成し自律的な中国語学習を促すという点において有効であろう。

注

- (1) 言論 NPO「第 9 回日中共同世論調査の結果公表」〈<http://www.genron-npo.net/world/genre/tokyobeijing/post-240.html>〉(2014/01/24アクセス)
- (2) 『日本経済新聞』2013年7月13日「中韓で日本嫌い急増 米調査機関」〈http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM1201S_S3A710C1EB〉

2000/) (2014/01/24アクセス)

- (3) 内閣府『外交に関する世論調査 (世論調査書 2013年10月調査)』
<<http://www8.cao.go.jp/survey/h25/h25-gaiko/index.html>>
(2014/01/24アクセス)
- (4) 微博は「マイクロブログ」という意味であり、本家のツイッターとほぼ同じ機能を含むサービスを提供している。マイクロブログサービスは「新浪」、「腾讯」「網易」「搜狐」などのポータルサイトで実施されている。以下「マイクロブログ」とのみ称す。
- (5) 最近の中国のコミュニティサイトに関する著作としては、①安田峰俊『中国人の本音 中華ネット掲示板を読んでみた』2010年、講談社。②同『中国・電脳大国の嘘「ネット世論」に騙されてはいけない』2011年、文芸春秋社。③古畑康雄『「網民」の反乱 ネットは中国を変えるか?』2012年、勉誠社。④石平『中国ネット革命』2011年、海竜社。⑤遠藤誉『ネット大国中国一言論をめぐる攻防』(岩波新書)2011年、岩波書店。等が挙げられる。著作②のように「ネット世論」を過大評価することに懐疑的な意見もある。
- (6) 代表的なサイトとして、サーチナ (serchina) (<<http://www.searchina.net/>> (2014/01/24アクセス)、レコードチャイナ (<<http://www.recordchina.co.jp/>> (2014/01/14アクセス)、キンブリックス・ナウ (<<http://www.kinbricknow.com/>> (2014/01/14アクセス)、などが挙げられる。
- (7) 中国インターネット中心「中国インターネット発展状況統計報告」2013年7月、<<http://www.cnnic.net.cn/hlwfzyj/hlwzxbg/hlwtjbg/201307/P020130717505343100851.pdf>> (2014/01/14アクセス)
- (8) 「中国人的日本观【提到日本,你首先想到什么…】」百度贴吧/日本贴吧<<http://tieba.baidu.com/p/2589437072?pn=1>> (2014/01/24アクセス)
- (9) 前述の中国インターネット情報センター (CNNIC) の2013年7月17日の報告によれば、中国 BBS (電子掲示板) の利用者は半年度前より5.5%減少しており、ユーザーがBBSからマイクロブログやSNSへ流れていく傾向がみられる。今回の取り上げた百度貼吧は2003年に開設され、登録ユーザー数6億名、掲示板内の話題(スレッド)数が800万件に上るが、2009年度の中国 BBS の人気100選では2位(1位は天涯社区)であった。「中文论坛100强评选」凤凰网 <<http://bbs.ifeng.com/special/bbs100/fenghuang>> (2014/01/17

アクセス) 百度贴吧は他の BBS と比べて日本関連の話題の項目が多く日本でも紹介される機会が多いので、今回は同掲示板を利用した。

- (10) スレッドとは、電子掲示板 (BBS) を構成する特定の話題・テーマに関する書き込みの集まりのことである。
- (11) 巖歌苓『金陵十三釵』江蘇文芸出版社 2011年
- (12) 「说起日本人, 你们第一个想到的是谁?」百度贴吧/日本贴吧 <<http://tieba.baidu.com/p/2574792436?pn=4>> (2014/01/25アクセス)
- (13) 苍井空 (新浪微博) <<http://weibo.com/u/1739928273>> (2014/01/24アクセス)
- (14) 「东京申奥成功, 大家最期待开幕会上看到谁?」百度贴吧/日本贴吧, <<http://tieba.baidu.com/p/2581627599>> (2014/01/25アクセス)
- (15) ヤマハの開発した音声合成システム「VOCALOID2」を採用したボーカル音源の1つで、メロディと歌詞を入力することで合成音声によるボーカルを作成することができる。また声にリアリティを与えるために女性のバーチャルアイドルのキャラクターが設定されている。
- (16) 「央视批抗日剧粗制滥造: 比俗争谁二」『新浪网』(新浪娱乐) 2013年4月11日 <<http://ent.sina.com.cn/v/m/2013-04-11/08373897025.shtml>> (2013/09/16アクセス)
- (17) 「广电总局确认整治抗战雷剧过度娱乐化要修改」『南方週末』2013年5月17日 <<http://www.infzm.com/content/90598>> (2014/01/24アクセス)
- (18) 「关于加强涉案剧审查和播出管理的通知」『人民网』2004年5月26日 <<http://www.people.com.cn/GB/14677/22114/33943/33945/2523854.html>> (2014/01/24アクセス)
- (19) 注17参照
- (20) この場合の愛国青年は、日本とロシアの二つの帝国主義国家が植民地を争う日露戦争で自国の勝利に熱狂した日本の一部の青年たちを指している。魯迅はわざと皮肉な表現を使って厳しく批判的な態度を示している。
- (21) 「2012年 海外日本語教育機関調査」(国際交流基金) <<http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/result/survey12.html>> (2014/01/24アクセス)

- (22) 「想必大家因为学日语喜欢日本却受到了打击你被骂过最难听的」日本吧 / 百度贴吧 <<http://tieba.baidu.com/p/2602223349?pn=2>> (2014/01/24 アクセス)
- (23) 「大家来说说自己周围对日本的态度吧」日本吧 / 百度贴吧 <<http://tieba.baidu.com/p/2615418815>> (2014/01/14 アクセス)
- (24) 「贴吧中国人：“日本和美国，你想住在哪里？”被日本人翻译」日本吧 / 百度贴吧 <http://tieba.baidu.com/p/2614211704?pn=3> (2014/01/24 アクセス)